

ベナン月報(2017年11月)

主な出来事

【内政】

- 10月31日, 国民議会で2018年国家予算が1.86兆FCFAで採択された。2017年比約1,470億FCFA減(-7.3%)であるものの, 減額分に関しては, 官民連携パートナーシップ(PPP)で補われる。
- 14日, ビオ・チャネ計画・開発大臣は, 国民議会予算委員会において, 2018年度公共投資計画(PIP)について, 227案件, 総額4,701億FCFAという計画を提出した。

【外政】

- 10月30日, ジ(M.JI Peiding)元中国外務副大臣が委員長を務める中国外務省外交諮問委員会は, アベノシ外務・協力大臣を表敬訪問した。同委員長は, 2018年に開催される中国アフリカフォーラムに関して意見交換を行った。アベノシ大臣は, コリーヌ県の給水案件への中国の支援に感謝の意を述べた。
- 16~17日, ワシントンで, アフリカ・商業・安全保障・ガバナンス会議が実施され, アベノシ外務・協力大臣はティラーソン国務長官と会談した。

【経済】

- 9日, 在ベナン独大使は, 地域別給水計画(ProSEHA)第2フェーズの開始式を実施した。同計画は2017年~20年の実施期間, ベナン6県38コミュニティで展開予定であり, 総額は1,140万ユーロである。
- 25日, マティス労働・公職大臣は, 経済・財務省の会計関連の正規公務員採用試験の全国で実施する旨発表した。326の採用枠に63,700人が応募した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, L'économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 10月31日, 国民議会で2018年国家予算が1.86兆FCFAで採択された。2017年比約1,470億FCFA減(-7.3%)であるものの, 減額分に関しては, 官民連携パートナーシップ(PPP)で補われる。(2日, La Nation 紙)
- ・ 1日, 国勢調査(Ravip)が開始され, 住民は今後個人情報を登録することになる。タロン大統領は, 現地小学校を訪問し, 自ら登録手続を行った。(2日, Le Matinal 紙)
- ・ 2日, アフォ・オボ(Ahmed Tidjani AFFO OBO)国民議会議員は, 議員グループの La Voix du Peuple を脱退し, Unipad に合流することを発表した。その結果, La Voix du Peuple の構成メンバーは8人となり, 議員グループ形成に必要な9名を下回る事となった。(3日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 2日, ミトベ(Guy MITOKPE)国民議会議員は, 議員グループの Union fait la Nation を脱退することを発表した。(3日, L'Événement Précis 紙)

- ・ 3日、国民議会において、生物分解性でないビニール袋の生産・輸出入・販売・所有・配布・使用を禁止する法案が成立した。保健・医療・軍事・研究等での使用は例外的に認められる。(6日、La Nation 紙)
- ・ 6日、2日に議員グループの Union fait la Nation を脱退したミトペ(Guy MITOKPE)国民議会議員は、La Voix du Peuple に合流することを発表した。(7日、La Nation 紙)
- ・ 14日、ピオ・チャネ計画・開発大臣は、国民議会予算委員会において、2018年度公共投資計画(PIP)について、227案件、総額4,701億 FCFA という計画を提出した。(15日、L' économiste 紙)
- ・ 1日より、ババロラ(M .David BABALOLA)ベナン水道公社(Soneb)総裁と総務・財務局長はベナン国家警察傘下の経済・金融班(BEF)の監視下におかれている。2.8億 FCFA の税金転用容疑が掛けられている(3日、L' Evénement Précis 紙)

【外政】

- ・ 10月30日、ジ(M.JI Peiding)元中国外務副大臣が委員長を務める中国外務省外交諮問委員会は、アベノシ外務・協力大臣を表敬訪問した。同委員長は、2018年に開催される中国アフリカフォーラムに関して意見交換を行った。アベノシ大臣は、コリーヌ県の給水案件への中国の支援に感謝の意を述べた。(8日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 10日より、ウンベジ議長以下2名のベナン国民議会代表団は、国連気候変動会議(COP23)へ出席するためにドイツのボンに滞在した。(16日、Le Matinal 紙)
- ・ 16~17日、ワシントンで、アフリカ・商業・安全保障・ガバナンス会議が実施され、アベノシ外務・協力大臣はティラーソン國務長官と会談した。(27日、Le Matinal 紙)

【治安】

- ・ 7日、ロコサ市の市場において、燃料販売者の不注意により出火した。駆けつけた消防局の迅速な対応により、火は消し止められた。(9日、Le Matinal 紙)
- ・ 15日早朝、セー(Sè)市及びアティエメ(Athiémé)市ズンウエ(Zounhouè)にてそれぞれ交通事故が発生し、子供1人を含む3人が死亡した。(16日、Le Matinal 紙)
- ・ 20日、ナチテング市にある労働・公職省アタコラ・ドンガ県事務所にて火災が発生した。火災の原因は不明であるが、目撃者の証言では、冷房機器からの出火が原因とみられている。(21日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 20日、ロコサ市ウエデメ(Ouèdèmè)地区の交差点で、60代の男が少女を誘拐しようとしていたところを周辺住民らに取り押さえられた。(21日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 27日、ジャコトメ(Djakotomey)市キンキンウエ(Kinkinhoué)地区の民家で火災が発生し複数住居が全焼し、焼け跡から3人の遺体が見つかった。また、この火事の影響で子供1人を含む2人が重度の火傷を負い、保健センターに搬送されたが死亡した。密輸燃料に引火したのが原因とみられている。(12月1日、La Nation 紙)
- ・ 30日、ジュグ市において、ジュグ市森林警察は、象牙2本の密輸容疑で2人を逮捕した。(12月1日、L' Evénement Précis 紙)

【経済】

- ・ 2日、ビオ・チャネ計画・開発大臣は、Benin Taxi 計画の第2フェーズで新たに203台の車両の導入を発表した。7月3日に第1フェーズが開始され約50台がコトヌで展開している。(3日, La Nation 紙)
- ・ 9日、在ベナン独大使は、地域別給水計画(ProSEHA)第2フェーズの開始式を実施した。同計画は2017年～20年の実施期間、ベナン6県38コミューンで展開予定であり、総額は1,140万ユーロである。(10日, La Nation 紙)
- ・ 9日、カンディ市において、日本による5,000万 FCFA を超える資金供与によりティッサールプール小学校及びダマディB小学校に新たな校舎が完成した。小西駐ベナン日本国大使及びアラジ・カンディ副市長等出席のもと、引渡式が行われた。(15日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 10日、コトヌにおいて、中国系企業の ITEL はアンドロイド市場に参入後10年を記念した周年祭を実施した。また、新たに3モデルのスマートフォンを発表した。(14日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日、労働・公職省はラジオ放映にて、18年1月に医療業界で新たに379人の契約公務員を雇用すると発表した。(15日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 20日、Mo Ibrahim 財団は、2017年版「アフリカガバナンスのイブラヒム指数(IIAG)」を発表した。国より提供された保健、教育及び社会的援助等から算出されるもので、ベナンは54か国中14番目で昨年から1つ順位をあげた。アフリカ諸国の平均指数は50.8、ベナンは59であった。(22日, L'économiste 紙)
- ・ 24日、CFAO(当館注:トヨタの系列会社、当地での自動車等販売店)は、YAMAHA 自動二輪車の新型モデル「Crux Rev」の販売を発表した。標準モデルは395,000FCFA である。(27日, La Nation 紙)
- ・ 25日、マティス労働・公職大臣は、経済・財務省の会計関連の正規公務員採用試験の全国で実施する旨を発表した。326の採用枠に63,700人が応募した。(27日, La Nation 紙)
- ・ 27日～12月1日にかけて、カナダのオタワ大学医学部生のチームはトッフォ県コリ(Colli)地区で無料診療を行った。この派遣チームは2003年に両市の友好関係より開始されている。(12月1日, La Nation 紙)

【文化】

- ・ ベナンで活躍するアニメーターのターディヴェル(M. Jean-Pierre Tardivel)氏は、ウイダ市の「Africa Decide」で3か月間マンガ制作についての研修を行うことを発表した。(9日, Le Matinal 紙)
- ・ 4日、在ベナン日本国大使館は、IFE 財団が運営するたけし日本語学校で日本語スピーチコンテストを開催した。ファワズバグドゥ(Fawaz BAGOU DOU)氏が優勝した。同氏は、12月に開催される天皇誕生日レセプションにおいて日本語スピーチを披露する予定である。

る。(6日, La Nation 紙)